



第50回東海地区みどりの少年団（隊）



サマージャンボリーを開催しました！

8月5日・6日の2日間、東海三県のみどりの少年団員27名が奈良県宇陀郡曽爾村の「国立曽爾青少年自然の家」に集まり、第50回サマージャンボリーを開催しました。

今回は7年ぶりの宿泊形式で、1泊2日の充実したプログラムとなりました。

1日目は、開会式の後、参加者は4つのグループに分かれて活動に取り組みました。

カードゲーム、暗きよやしがらを使った環境整備、森の土のボーリング調査と間伐材丸太のコースターづくり、森林散策とどんぐりの木のコケ玉づくりなど、屋内外で多彩な体験を行いました。夜にはキャンプファイヤーを実施し、ゲームを通して交流を深めました。

2日目は、団員全員で「木のスプーンづくり」に挑戦しました。薪を細く割って持ち手を作り、形を整えながら丁寧に磨き、最後に金属部分を取り付けて完成させました。思い通りの形になるまで何度も削り、夢中で制作に取り組む姿が見られました。

閉会式では団員が2日間の感想を発表し、「もう少しここにいたい」という声も聞かれました。交流が深まり、夏休みの良い思い出となった様子がうかがえました。

岐阜県からは海津市みどりの少年団の7名が参加しました。

今回の開催にあたり、引率者、カウンセラー、三重県職員、国立曽爾青少年自然の家、愛知県・三重県緑化推進委員会ほか、多くの関係者の皆様にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

集合写真（みどりの少年団勢ぞろい）



森の散策
(木や森を観察)



木のスプーンづくり



キャンプファイヤー

